

モデル校用 【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書】(モデル校 東京都八王子市立四谷中学校)

○ 学校の概要 (平成15年4月現在)

	1年生	2年生	3年生	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4		12	
生徒数	127	122	153		402	22名

1. 年度当初の総合的な学習の時間についての課題

- ・学校目標、目指す生徒像・授業像、教科などとの関連、指導体制、評価規準を盛り込んだ年間計画の見直し（いつでも、だれでも、どこでも、立ち返れるように一枚のシートに具体的に仕上げる）
- ・教育課程の中で総合的な学習の時間の目的や趣旨に沿った活動といわゆる特別活動との時間配分を計画の段階で明示する。
- ・外部人材の確保（体験的学習を学習の動機づけとして設定し、地域の専門の方に支援を受ける）
- ・生徒への指導、支援のあり方の工夫改善

2. モデル地域としての研究主題と目標設定

小・中・高連携と地域の教育資源を生かすテーマから、「三校にまたがる浅川の自然」についての総合的な学習時間の教材化を考えた。この実践は、地域に流れる浅川の環境に目を向けた子供たちが浅川の美化活動に取り組む中で、どうしたら浅川の河川敷が市民の〇〇の場になるかを「浅川の青さを取り戻し、〇〇の場にしようプロジェクト」として計画するものであった。

① 単元目標を次のように設定した

【課題解決能力】浅川の散策や保護活動をしておられる方はいないか？取材すると共に、現場に出向き、どんな美化活動ができるか、地域の大人の方や異年齢集団（小中高生を交えた調査団の結成）協力を依頼し、環境改善に取り組もうというものである。

【学び方やものの考え方】浅川の美化活動の実績に学ぶことや、地域住民の願いを調査したりしたことをもとに、より青い浅川、安全な場にするには、どうしたらいいか、を考えることができるようとする。

【主体的・創造的な態度】浅川の美化活動に関心を持ち、課題解決のために「浅川、〇〇の場にしようプロジェクト」を提案し、行動し今後も地域の環境に積極的に関わっていくことができるようとする。

【自己の生き方】浅川の環境にどのように関わっていくかを考え、小中高での体験が生きたものとして、引き継がれ、地域の方との関わりを通して、より浅川の環境美化事業に対する思いや願いにふれ、地球の青さの美しさとして規模を大きく捉えさせ、その原点として、自分のできる事で地域環境を大切にすることを実感させ学ばせる。

3. 本年度の実施内容及び成果と課題

〈取り組み内容〉 地域環境に働きかける総合的な学習の時間のカリキュラム連携

一浅川の清掃活動等の社会体験活動を軸にして一【共に踏み出そう、青い地球をより青く】

〈成果〉・体験活動実施後の生徒が記入したワークシートの感想を単元目標に示した観点で分析すると、環境問題に関する課題認識、異年齢集団で実践できた意義、他の教科との関連や自己の生き方に関わる活動の継続性、など実感できたことが読み取れる。

・教室での学習、体験学習中、評価（まとめ）など、総合的な学習の時間でのそれぞれの場面で、教師がどう支援していくかが大きい。「生徒たちの反応にどう答え、この先どうするのか」を考えさせる支援のあり方を研究する意義が大きいことが分かる。

・教育課程の中で、体験活動を体系的に総合的な学習の時間の趣旨に沿って展開することは、生徒自身の学習への能動性（関心・意欲）に繋がるものも大きい。（体験活動は、参加者にやらざるを得ない状況をつくり学習効果も大きい）

・異年齢集団で活動したことは生徒により意味の緊張感をもたらし、学習への動機づけを高めた。

・異年齢集団では、普段リーダーシップをとれない中高校生がリーダーになっていた。

・このモデル事業の趣旨である外部人材活用では、ゲストティーチャーとして都環境局の環境教育学習リーダーや地域の方々（PTA、町会の方々）約20名ほどの協力を得て実践でき、地域に思いの強い方々から直接助言をいただいたことは、生徒たちの課題設定、学習成果として大きな支援となった。

〈課題〉・生徒の自己評価能力をつけさせるためにも、教師の支援が大きく、実践計画（指導案）に指導と評価の一体化をはかる「教師支援」は、生徒の自己評価力を高める必要からさらに吟味していく。

・事前学習において、リーダー会議を行い体験活動実施日にスムーズな展開ができるように打ち合わせを行ったが、事前学習の段階でも異年齢集団での交流学習を展開するとさらに効果的である。

・校種を越えて合同学習発表会を実施することをと本年度の実践と共に、参加校独自に行っている「総合的な学習の時間」の内容でモデル事業の趣旨に沿って小中高のカリキュラム連携を図れるよう検討を進め次年度の教育課程に位置付ける。

## 総合的な学習の時間全体計画

### ●生徒の実態

- 純朴な性格の生徒が多く、「学ぶこと」に対する期待を抱く生徒が多い。
- 特に、体験活動を好み、人と積極的に関わる生徒が多い。
- 学び方を細かく学ぶ生徒が多い。
- 取り組もうとする生徒が多い。
- 教師の願い
  - ・自他を見つめ思いや考えを相手にきちんと伝え、受け止めらる、また、学校全体のテーマである「共生」の中で自己実現を目指し、自分に満足感をもてる力の育成

### ●学校の教育目標

- 進んで学習し、ねばり強く努力する人
- みんなと協力し仕事に責任をもつ人
- 豊かな心をもち正しい行動のできる人

東京都八王子市立四谷中学校

- 総合的な学習の時間のねらい(学習指導要領)
  - (1)自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること
  - (2)学び方やもの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えること
  - (3)各教科で身に付けた知識や技能を相互に関連付け、それらを学習や生活に生かし、総合的に働くことができるようすること

### 全校での共通理解事項

「地域との共生、自然環境との共生、身近な人々との共生、世界の人々との共生について、地域の教育力を活用し、小中高連携したカリキュラムを開発する。また、指導者と評議会の一体化を図り、学びを細かく明示していく。特に、文科省モデル事業の中でもある2学年は社会会体験活動を充実させ、小高との交流を進める。
---

### 本校の総合的な学習の目標

- 「共生」をテーマに掲げ、「共に学びあう学習」として体験活動や問題解決的な学習を通して、人とのかかわり、自己の生き方、地域環境、伝統文化、福祉、人権平和問題等の課題を自ら考え主体的に解決する力を養う。

1年	2年	3年
地域に愛着を持ち学んだことを地域や家庭の中で実践することができる。また、学び方を習得させたため、教師との学習ガイダンスを充実させる。さらに、学習への意欲・関心・思考力・表現力を目指す。	総合的な学習の時間の基礎として、学ぶことへの期待を高める。また、地域の教育力を活用し、したがって、知識を新たにし自らの生活に生かす能力の習得を目指す。	全校のテーマに沿って、自ら価値ある課題を見出し学習計画を立て追跡することができる。また、自分の活動を振り返りこから自分の生き方にについて考え、発表できるようにする。

### 目指す授業像

- 体験的な活動を重視し、決意を経験する。習得や学習所で問題解決する。そこで、教師が指導する。また、地元にいる人材による研修会に入れて、実際に企業と接する。企業などとの直接的なつながりを大切にした学習を展開する。

### 関係機関との連携

1. 地域環境リーダー
北浅川付近在住の方々
市役所環境部
青少年対策課
P.T.A.の方々
保護司
弁護士
地域の自営業の方々
地域町会老人会
福祉センター
学校評議会委員
八王子高等学校
都立八王子盲学校
都立八王子北高等学校
市立橋原小学校

### 内容・単元

学年	1年	2年	3年
	仲間との共生 地域との共生(伝統文化)	仲間との共生 地域との共生(高齢者との交流)	世界の人々の共生 地域との共生(高齢者との共生)
1学年	個人課題別 読解、表現、情報等	チャレンジ 表現、資料活用、探究心	学習 企画力、自己評価力等
	自然環境との共生 環境学習まとめ	自然環境共生体験学習 小高・地域との連携プログラム	社会人との共生 世界の人々の共生 (平和問題を中心に)
2学年	世界の人々との交流 (国際交流体験学習)	世界の人々との交流 (国際交流体験学習)	世界の人々との交流 (国際交流体験学習) 障害者との共生
	障害者との共生	障害者との共生	は通年
3学年	モードデュアル 社会人 地域に学び	どしての共生 地域に育つ(人的環境) 小中高連携プログラム	共生 自己実現を求めて
	学習成果発表会	学習成果発表会	学習成果発表会

### 特別活動・学校行事との関連

育てたい資質・能力の関連	評価の標準
望ましい集団生活を通じての取扱いの個性の伸張を図る。一貫して仲間との社会との共生のより高い自立的、実践的、人間との共生の高める。総合的な力を持つ学生を活躍させ、各理設決へと展開される。	親点

### 評価の標準

親点	1年	2年	3年
解決体能的な問題	テーマに沿って調査活動を行ない、情報を収集する。見聞きして情報収集力、コミュニケーション力、処理力、計画性など、「学び方」の習得を規定する。	体験から自分なりの思いや考えを持ち課題を見つける。情報収集力、分析力、法律得得感などを「学び方」の習得を規定する。	経験したことの中から学んだことを整理し自分なりの課題を明確にする。情報収集力、処理力、計画性、行動力、自律性など「学び方」の習得を規定する。
見多様考え方の方のの	多様な観点から疑問を持ち、課題追求の意欲を持続させる。調査、観察、実験など工夫する力。仲間とのよきづくことができる。	多様な観点から疑問を持ち、課題追求の意欲を持続させる。調査、観察、実験など工夫する力。仲間とのよきづくことができる。	立場による考え方の違いを踏まえて自分の考え方をまとめる。異なる意味を察し、それぞれの意義や意味を考えて、それぞれの意義や価値を触れることがある。
度的学習創造への主導的な主体	他人に迷惑をかけず材のを創造する。學習の成績を他人に分かちや伝える力。学びあうことのできる力。	自分の課題や新たに発見された問題に対しても積極的に調査や取り組み活動など自らから積極的に調査することや自分なりの調査方法による表現ができる。	自分の考えたり企画したことについて着実に実現する。進んで取材し、立場や考え方の違いを認識できる。様々な調べ方やまとめて方を工夫し課題に応じたものを見つけるようとする。
力方自を自己考え生るき	友達や教師、関係する人たちと一緒に物事を取扱う力。他人をサポートする力。自己評価力と推奨性が自分生き方に反映できる。	課題と自分との関りの中で、人々の生き方を学ぼうとして将来の生活に生かそうとしている。其他者評価を認識し、自己評価に反映できる。	課題と自分との関りの中で、人々の生き方を学ぼうとして将来の生活に生かそうとしている。其他者評価を認識し、自己評価に反映できる。

### 評価方法

自己評価	活動観察	面接訪問
他者評価(仲間や協力いただいた大人など)	作品分析	意識調査などポートフォリオで行う

### その他

- ・時間割編成を工夫し、学年合同の時間確保
- ・保護者への協力依頼、謝金など外部人材活用の組織化
- ・総合的な学習の時間の担当者、推進委員の組織化

### 教科との関連重点のみ

- |              |   |                             |                     |
|--------------|---|-----------------------------|---------------------|
| 育てたい資質・能力の関連 | 教科における固有の目標との関連を図る。<br>生徒全員が身につけるべき基礎的基本な知識と関連する。<br>課題解決、体験学習の実施。<br>・自己の生き方と自己評価力 |                             |                     |
| 【国語】         | 目的や場面に応じての表現すること。<br>【社会】   | 具体的な調査活動を中心に行なめること。<br>【技術】 | 具体的な調査活動を中心に行なめること。 |
| 【英語】         | 【社会】  | 【技術】                        | 【英語】                |
| 【音楽】         | 【音楽】  | 【音楽】                        | 【音楽】                |
| 【美術】         | 【美術】  | 【美術】                        | 【美術】                |
| 【保健体育】       | 【保健体育】  | 【保健体育】                      | 【保健体育】              |

### 道徳との関連主なもの

- |  |   |
|--|---|
| 育てたい資質・能力の関連   | 道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を育てる。<br>・物事に主体的に取り組み、やり遂げる意志を持つ生徒。<br>・地域や社会の一員として、自己を持つ、郷土を愛する生徒。<br>・礼儀をわきまえ、自他の人にも向上を図れる生徒。 |
| 【指導内容】   | 【指導内容】  |
| 1-5 自らの実践を振り返り自己の実向に個性を伸張する。<br>4-1 自己が属する理屈を認め、理解する。<br>4-4 集団に深入り、役割をとる。<br>4-7 地域社会の持続可能な開発に対する貢献。<br>員先と感謝の念を深くする。 | 【指導内容】  |